



## 衆議院選挙 日本共産党へのご支援ありがとうございました

これ以上のくらしの破壊は我慢ができない、と、初めて野党共闘で政権交代に挑んだ総選挙でした。「小選挙区は中川さん、比例は共産党へ」と訴えました。日本共産党は、小選挙区では沖縄1区で赤嶺政賢さんの議席を守り抜きましたが、比例代表選挙で前回獲得した11議席から9議席に後退しました。たくさんのみなさんが応援くださったのに申し訳ないという思いと、温かな応援のおかげでがんばることができ、ありがとうございました、という気持ちが混ぜこぜになっています。改めまして心から感謝を申し上げます。憲法を守れ、いのち守れ、くらし守れ、まともなコロナ対策を、地球を守れなどのみなさんの声を心に留め、私も日本共産党の地方議員としてさらに力を尽くします。



比例代表で当選のもとむら伸子さんと

## 野党共闘の効果はあった

野党共闘はかなりの効果があったとみています。だからこそこんなに叩かれるんだと。小選挙区289区のうち214区(74%)で候補者を野党で一本化することができ、そのうち62の選挙区では野党が競り勝ちました。一本化しなかったらどうなっていたでしょうか。また32選挙区あと一歩まで追い詰めることができました。もうこの道しかありません。

| 議席   | 2017年         | 今回               | 差異  |
|------|---------------|------------------|-----|
| 与党   | 310<br>(自・公)  | 293<br>(自・公)     | △17 |
| 補完勢力 | 61<br>(希・維)   | 41<br>(維)        | △20 |
| 共闘勢力 | 68<br>(立・共・社) | 110<br>(立・共・れ・社) | +42 |

| 比例得票数 | 2017年            | 今回                 | 差異    |
|-------|------------------|--------------------|-------|
| 与党    | 2553万<br>(自・公)   | 2703万<br>(自・公)     | +150万 |
| 補完勢力  | 1306万<br>(希・維)   | 805万<br>(維)        | △501万 |
| 共闘勢力  | 1643万<br>(立・共・社) | 1889万<br>(立・共・れ・社) | +246万 |

選挙中の報道を見てますと、何が選挙の争点かと問われた時、「経済」を重要視する方が多いように思いました。社会経済活動の中で一番大きいウエイトを占めるのが「家計消費」です。まずは一人一人の暮らしが良くなって初めて、家計消費が進み、日本の「経済」が回ります。経済学者の浜矩子さんの受け売りですが、「経済」は人間を幸せにする営みなのです。消費税を減税し、税金は富めるところから応分に徴収することなど含め、日本共産党の経済の政策にも確信を持ち、来年夏の参議院選挙へ向かいます。



共産党の新経済提言

## 地球の危機は命の危機『おにぎり』にも危機が迫っている

国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)が、イギリス グラスゴーで開催されました。気候危機を打開するために、特に『石炭火力発電所の全廃』が求められる中、日本は、主要7カ国で唯一、石炭火力撤退計画を持たない国です。案の定、気候行動ネットワークにより、気候危機に消極的な国に与えられる『化石賞』を受賞しました。

11月6日、東京では日本共産党の気候危機街頭宣伝があり、吉良よし子参議院議員が『おにぎり』の話をしていました。日本ではお米について、冷害対策のため寒さに強い品種を作っていました。しかし温暖化の今はそれではうまく成熟しない。検査等級が年々下がって、米価の下落の原因にもなっています。冬に収穫する海苔も、海水温が上がっているため収穫できる期間が短く収穫量が減っています。気候危機の影響は、ご飯と海苔、『おにぎり』にも迫っている、というのです。気候危機の問題は、政治の責任が大きいのですが、私たち一人一人も身近な問題として捉え、学び、行動することが求められています。



11.06気候危機スピーチ

## 消費生活センターが移転しました

鈴鹿亀山消費生活センターは11月からハンター二階に移転オープンしました。鈴鹿亀山地区広域連合議会を代表し、ご挨拶とテープカットをさせていただきました。

駐車場の心配もなく、エレベーターやエスカレーターもある。広くて相談室もある。帰りにお買い物もできる。良いことづくめです。でも何よりの自慢は相談員の質の高さです。私も何度も市民とともに相談し、助けていただきました。本当に頼りになります。どうぞご相談ください。



相談窓口・TEL / 059-375-7611 相談時間 / 10時～16時 [定休日 / 土曜日・日曜日]

## みゆきの四季雑感



### 秋深くなると食べたくなるのが炊き込みご飯

小学生の頃、松阪の高町というところに住んでいました。山の神の日、子どもたちはお寺の広間で歌や踊りを披露し、お昼には、炊き込みご飯とたくわんをご馳走になるのが楽しみでした。初めて食べた時、鶏肉が入っていてとてもおいしいのでびっくりしたのを思い出します。我が家では人参、しいたけ、油揚げ、高野豆腐など精進でしたから。

亀山では松阪と同じく『味ご飯』と呼ぶことが多いようですが、『かしわ飯』とも言い、一部では『塩飯』との呼び方も。彦根出身の夫は『油揚げ飯』(あぶらげめし)、四国出身の私の母は『しょうゆご飯』と言ってました。具とご飯を別々に炊いて後から混ぜるという調理方法があることや、鶏肉も若鶏とひねをそれぞれ使い分けておられること、田茂町では牛肉を使う、などは亀山に来て学んだことです。紀伊長島にいる妹は、『さかなご飯』といい、メインに新鮮なお魚を使い、炊き上がりに、ねぎや生姜の薬味を使うそうです。『磯飯』(いそめし)と言う貝類を刻んで入れるものもあるそうで旨味がすごそうです。他にもおいしい炊き込みご飯があれば教えてくださいね。